

平成29年度 第1回予防接種運営委員会 会議録

日 時	平成29年6月26日（月） 13:30~15:00
会 場	芦屋市医師会医療センター2階
出席者	委員長 高 義雄 委員 河盛 重造 委員 澤田 喜博 委員 三井 幸裕 事務局 近田 真 山田 映井子 丸山 千尋 瀬戸山 敏子
事務局	健康課
会議の公表	■ 公開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

議題

- 議題1 平成28年度予防接種実績について（資料1）  
議題2 平成29年度予防接種実施計画について（資料2）

2 提出資料

- 資料1 平成28年度予防接種事業実績  
資料2 平成29年度予防接種実施計画

3 審議経過

（開会）

（事務局近田）定刻になりましたので、平成29年度第1回予防接種運営委員会を開催いたします。本日は教育委員会教育課の荒谷委員が公務のため欠席させて頂いております。よろしくお願いたします。

（事務局近田）

会議運営上のご説明をさせていただきます。芦屋市情報公開条例第9条により、会議は公開が原則となっております。本日の会議は公開とさせていただきます。また議事録

及び議事録中の発言者名につきましても公開とさせていただきます。議事録を正確に作成するため、レコーダーで録音させていただきたいと思っておりますので、ご了承のほどよろしく申し上げます。まず、お手元にあります資料の確認をお願いいたします。

それでは、高委員長、議事の進行につきましてよろしく申し上げます。

(高委員長挨拶)

(高委員長) それでは、議題に入ります。平成28年度予防接種事業実績について、事務局から説明申し上げます。

(事務局丸山) 平成28年度予防接種事業実績について説明いたします。

(資料1)の説明

(河盛委員) ヒブ・肺炎球菌の接種者数はほぼ同じですが四種混合の接種数と比較すると若干低いような印象ですが健診等での様子いかがでしょうか。健診で、四種混合は接種しているが、ヒブ・肺炎球菌は接種していない人はいませんか。

(事務局丸山) 四か月児健診では、すでに接種済の方が多く印象があります。

(河盛委員) 今後も健診等で状況確認をお願いします。

また、MRⅡ期が80%台は低いように感じますので、ぜひ95%程度まで上げてもらいたい。B型肝炎は受けているかたは多いですか？

(事務局瀬戸山) 受けている方は多いようです。

(河盛委員) 二種混合については、接種率が上がっており良かった。医院でも、日本脳炎の接種に来たかたに同時接種を勧めるようにしており、そうすると受ける方は多いです。

また、ポリオ単独接種で1回目のかたがいるが、どんな人でしょうか。

(事務局丸山) どのようなかたであるのが、確認しておきます。

(高委員長) B型肝炎の特例の対象者はどのくらいいますか。

(事務局瀬戸山) 対象者の人数は確認していませんが、今年度特例対象者として1名が接種を行っております。

平成29年度予防接種実施計画について、事務局から説明申し上げます。

(事務局丸山) 平成29年度予防接種実施計画について説明いたします。

(資料2)の説明

(河盛委員) 10か月児健診のはがきにBCGの接種勧奨を載せていると思いますが、B型肝炎についても勧奨願いたい。

(事務局瀬戸山) 今年度より、BCGとB型肝炎の勧奨文を載せております。

(河盛委員) 予防接種の予診票は外国語表記のものはありますか。

(事務局瀬戸山) 現時点では準備がありません。今後国際交流課に依頼し、英語訳を検討します。

(高委員長) 1, 2合わせて質問等はありませんか。

日本脳炎のワクチンが足りないという話が出ていますが、どうでしょう。

(河盛委員) 卸によると思います。先日日本小児科医会総会で日本脳炎のワクチンが足りない方の挙手を行ったのですが、約半数の手が挙がりました。一気に注文をしないようにす

れば、なんとかなるのではと思っています。

(高委員長)ありがとうございます。また新しい情報等ありましたらお知らせください。そのほか、ワクチンの打ち間違い等はございませんか。

(事務局丸山)接種間違いの報告が1件あります。内容としましては、二種混合の接種を同病院で2回接種されたというものです。

(高委員長)大事には至っていないのでしょうか。

(事務局丸山)医院から保護者へ説明をしており、副反応等の報告もありません。

また、接種間違いにつきましては、5月から様式変更になっており、医師会に配布しておりますので、今後の報告は新しい様式をお願いします。

(高委員長)ほかに質問はありませんか。

(事務局瀬戸山)水痘の接種期間についての質問です。1回目から2回目の接種は標準的には6か月以上になっていると思いますが、3か月以上でも接種は可能と思います。

(河盛委員長)早く免疫をつけるという目的だと早い間隔で接種し、長期間にわたって免疫を維持するという目的の場合は、長い間隔で接種をします。水痘の場合は、6か月から1年を標準的接種としていますが、2回目の期間は間隔をできるだけあけた方が、免疫反応は良くなると一般的に言われています。また、国によっては、3回目の接種を推奨していく国もあります。

(高委員長)ありがとうございました。その他質問はありますか。

(事務局丸山)日本脳炎の予防接種についてですが、小児科学会から日本脳炎の罹患のリスクの高いものに対する生後6か月からの接種の推奨についてという通知を見たのですが、その点についても助言をお願いします。

(河盛委員)近年、千葉県で11か月の児が日本脳炎に罹患したという報告があったため、千葉県では早期に接種をする方向になっています。罹患リスクの高い地域の方は早期の接種をしても良いとは思いますが、すべての地域で早期接種の方向になると、おそらくワクチンが不足すると考えられます。兵庫県でも養豚をしている地区の人や海外渡航等のあるかたについては、早期に接種をしても良いとは思いますが、そうでなければ特に接種勧奨はしていません。

(事務局丸山)3歳未満では、接種量が少ないとは思いますが、それについてはいかがですか。

(河盛委員)不活化ワクチンは接種量で効果は変わってくると考えられますが、はっきりした調査はありません。リスクがあるのであれば、早期の接種が良いでしょうし、リスクが少なければ、3歳まで待つので良いと思います。

(事務局丸山)先ほど接種間違いの件でもあったのですが、母子手帳をお忘れになったときの対応はどのようにされていますでしょうか。

(河盛委員)母子手帳を忘れたら接種しないという意見もあるとは思いますが、保護者のかたも仕事を休んで来ていたりもするので、接種できないと言いくいにくいです。できるだけ早く持ってきてもらうようにしています。

(事務局丸山)では、接種間違いのないように予防接種カルテを活用していただくことで管理していただくということでしょうか。

(河盛委員) そうですね。

(高委員長) その他は何かありませんでしょうか。ないようですので、これで一旦閉会とさせていただきます。事務局にお返しします。

(事務局近田) ありがとうございました。次回の開催は2月頃を予定していますので、近くなりましたらご案内を差し上げますのでどうぞよろしくお願いします。本日の予防接種運営委員会はこれで終了とさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

(閉会)